

梅

村田活彦

くちびるのかたち
に
蕾がほころんだ日

子どもたちが眠ったあと
残りものの毛糸で
小さなコースターをつくる

ぽっぽっ　ぷお　ぷい
手のひらに
うす紅とみどり

輪を連ねていくのは
凧を待つ時間に似ている
かつて教室の窓辺でひとり
ベリーショートのうなじに
風を感じたときの
かすかな誇らしさ

香る花　香らない花
口を結んで
まるい果実となる
何十年かかったとしても
ひと目　ひと目

ぽっぽっ　ぷいや
ぴいお　ぴいお

聞こえた？
セキレイだね、きつと